



品川くみん オンブズマンの会

04年6月
No.32

発行— 品川区民オンブズマンの会
〒140-0015
品川区西大井4-21-10
事務局 田出 (3775-4638)

主文
一 原告らの請求をいずれも棄却する。
二 訴訟費用はこれを二分し、その一を被告の負担とし、その余を原告らの負担とする。

地裁判決（四月十三日）「棄却」でも 勝訴 なぜ？ この判決文を読んでください

証拠によれば以下の事実が認められる

カラオケバー千泉

—要約—

平成十三年七月二十二日「執行部会」（内容は各種団体政策要望調整会議。支出金二六〇〇〇円）九月七日「区議団党総会」（内容は第三定例会議案研究。支出金三〇〇〇〇円。なお同日には同名目の会合が中華料理店でもおこなわれている）十月一日「政調会・第一部会・区民調査会」（内容は商店街振興意見交換会。支出金一五〇〇〇円）十一月二十二日「政調会・第二部会・文教調査会」（内容は学校安全问题についての検討会。支出金二五〇〇〇円）十二月五日「政調会・特別部会・清掃リサイクル調査会」（内容はゴミ対策とリサイクル視察調査会。支出金三五〇〇〇円）いずれも品川区大井一—一九—〇の「カラオケバー千泉」で開催された。同店は品川区役所近くにある店であり原告佐藤が調査のために金曜夜に赴いた際には一〇人ほどのホステスがおり店内にはカラオケと話し声が大きな音量で流れていた。

キャバレー白いバラ

—要約—

平成十三年七月十四日「政調会・第一部会・区民調査会」（内容は産業振興・景気動向調査研究。支出金四三六〇〇円）は東京都中央区銀座三—五—一八「キャバレー白いバラ」で開催された。同店は銀座にある老舗といわれるキャバレーで店の入り口にはホステスの写真が掲げられ店内はかなり広くバンド演奏付きでダンスなどができるようになっている。ホステスが接客する形式であり時間帯によってはショーがおこなわれることもある。調査のため入店した原告佐藤らによれば特に卑わいな雰囲気はないが絶えず接客が続いているものとされている。

六本木「エリコクラブ」

—要約—

平成十三年九月二十五日「区議団」（内容は都連青年部・青年局城南ブロック意見交換。支出金一〇五〇〇〇円）は東京都港区六本木五—二—十一所在の「エリコクラブ」で開催された。同店は六本木にあるクラブでビルのエレベーターを降りると既に店内に入るようにな

っている。店内にはミニスカートの若いホステスがお入り調査に入った原告らは入店しなかったがエレベーターからでも店内には紫がかつたピンクのソファアールやカラオケセットがありピンク色の照明が見えた。

ライブハウス「セント銀座」

—要約—

平成十三年十一月二十八日「政調会」（内容は自民党青年局との意見交換会。支出金一八五九六円）は東京都中央区銀座六—七—十二滝山ビル所在ライブハウス「セント銀座」で開催された。同店はライブハウスでありオールドミュージックを中心としたライブ演奏を売り物にしたものであり店の中には大きなポリウレムの音が響いており調査にいった原告佐藤及び代理人千葉によると相手が何を話しているのかも聞き取れないような状況であった。

本件支出は目的外的のものである

上記の事実によれば本件各支出された場所は女性定員による接客がおこなわれるか大きな音響が常に響いているかのいずれか又は両方に該当するものであり、それに加え前記各号証の写真により認められる各店舗の外観等をも考慮した場合、上記で認定した各会合を開

催し各記載の内容の意見交換や会議を行うにはそぐわないものであるばかりか通常は遊興のみを行う場所であることが一見明白である。またこれらの会合の一部が目的として掲げられる調査との関係についてもゴミ対策とリサイクル調査についてもいえば視察であると称しながら本件各支出の機会だけでも既に五度その店で行っており、また、景気動向調査についていえば区議の活動とは直接関係を有しない区外の店舗であり調査対象として適切とはいえないこと、調査を行った成果物が特段提出されていないことにかんがみれば上記各店舗はそのような調査になじまないと推測すべきものであり他にこれを覆す証拠は認められない。すると本件支出が行われた場所は

立てもかかわらず区議団に対して「交付された政務調査費がどのように使用されたかについて知らない」などとのべ、その会議の具体的内容等、出席者等について調査をして明らかにすることをせず平成十五年十一月七日の第八回頭弁論期日においては、求釈明に答える必要がない旨を明言したものであり、これにより、早期結審を望んだ原告らがやむをえず平成十五年十二月十二日付けで本件で問題とする支出を当初の二〇八件から八件に限定した矢先、区議団がその部分のみに限って政務調査費の返還を行ったのであるから原告の立場からすると区議団は自ら最終的には政務調査費の使途に問題があったことを認めざるを得ない状況にいたる事態であったにもかかわらず自らそれを明らかにすることをせず訴訟の終局に近づき使途に問題があったことが白日の下にさらされる可能性が生じるや他の会派も同様の支出を行っている旨の主張をしたり最終的に問題となつた政務調査費のごく一部を返還することで敗訴判決を回避しようとしたものであるかのよう

被告が敗訴判決を回避しようとした

略—
被告は原告らの再三の求釈明の申し

感じられるのも無理からぬところである。

心たたび政務調査費を監査請求

自民党品川区議団が飲食費に使った769万8995円を区に返還せよ

自民党飲食費一覧の一部

平成14年度「会議費」

年	月	日	飲食店	店の種類	金額
14	12	6	うなぎ専門店藍の家	うなぎ	12,000
14	12	6	小川家	そば屋	1,410
14	12	7	和食川平	日本料理	24,120
14	12	8	寿保広	そば屋	1,730
14	12	10	韓国家庭料理ソウル	韓国料理	24,500
14	12	18	しゃぶしゃぶ豊	しゃぶしゃぶ	8,650
14	12	19	和食川平	日本料理	16,800
14	12	19	入船	洋食	6,737
14	12	20	とん清	とんかつ屋	18,640
14	12	20	すし割烹タ?	すし	16,100
14	12	23	中華風居酒屋シノア	居酒屋	7,130
14	12	24	ロマーナ	イタリアン	5,943
14	12	27	三岩	居酒屋	22,350
14	12	29	小川家	そば屋	1,680
15	1	5	割烹とんかつひろせ	とんかつ屋	25,000
15	1	12	高田屋	そば屋	2,050
15	1	19	ふぐ、魚匠料理たらふく	割烹	14,590
15	1	22	うなぎ専門店藍の家	うなぎ	12,600
15	1	26	銀座ハゲ天	天ぷら	2,740
15	2	9	きそば天井更科	そば屋	4,800
15	2	10	お菜処わらじ	カラオケバー	8,400
15	3	2	割烹とんかつひろせ	とんかつ屋	6,930
15	3	2	寿司うなぎ喜よし	すし・うなぎ	21,000
15	3	3	とんかつ安右工門	とんかつ屋	13,650
15	3	9	寿司うなぎ喜よし	すし・うなぎ	24,500
15	3	10	韓国家庭料理ソウル	韓国料理	14,000
15	3	11	ステーキハウスB&M	焼肉	10,395
15	3	11	木曾路	しゃぶしゃぶ	11,000
15	3	11	木曾路	しゃぶしゃぶ	11,000
15	3	11	木曾路	しゃぶしゃぶ	11,000
15	3	12	とんかつ安右工門	とんかつ屋	12,350

全国大会参加費の予算が足りません。募金のご協力をお願いします

監査請求の理由(要約)

「区政に関する調査研究」のために必要な経費として認めることは不可能。

クラブ、スナック、キャバレー、パブ
(これらの支出は返還)

こうした店内で「区政に関する調査研究」のための会合をおこなうことは想像しようもない。

居酒屋等

酔客と隣合わせで区政に関する「調査」「研究」をおこなうというのは想像しようもない。

割烹、懐石・日本料理

支出先リストはさながら「グルメガイド」を思い起こさせる。懐石料理などの料理に舌鼓を打ちながらおこなう「会合」に「研究調査」のための支出としての合理性をどうして見出しえるだろうか。

うなぎ・しゃぶしゃぶ・すし・ふぐ等

これらの店舗を頻繁に使用している。高額の支出を政務調査のための合理的必要性に基づくものと評価するのは不可能。

天ぷら・とんかつ

一度の会合で数万円にもおよんでおり、桁ちがいの支出、アルコールをとまなう会食が行われたことが推測される。

以下略

飲み食いダンゴ三兄弟?

同じところで偶然の顔あわせ?

平成14年5月15日

御料理処なるほど	50,000円	自民党研究費
なるほど	10,000円	公明党研修費
なるほど	10,000円	民主党区民連合研究費

平成15年3月11日

木曾路	33,000円	自民党会議費
木曾路	11,000円	公明党研修費
木曾路	11,000円	民主党区民連合会議費

第八回定期総会の報告(四月二十六日)
委任含めて会員の過半数を超えて成立しました。
「一部返したが理由がはっきりしない」「保育や教育など削減しながら飲み食いする、許せない」「情報公開の手数を議員からも取る、おどろきだ」などの意見が出されました。
予算決算報告も了承されました。八月に行われるオンブズマン全国大会は北海道函館で行われます。遠地なので経費の問題もあるが政務調査費裁判など知らせるよい機会だということから参加が確認されました。
委任状での「意見」
「実績を勝ち取りすばらしい」「自公民等の馴れ合いで予算の使途、実態は掴みきれないが伏魔殿的要素あり」「全国レベルでの推進がポイント。世論のベースになる」「大変な仕事ですが続行してください」など励ましの言葉がありました。
有難うございました。
当日、フジテレビが取材。五月二十七日「とくダネ」で放映されました。